

4. 課程認定を受けている課程を有する学科等の各段階における到達目標

＜応用生物科学部栄養科学学科＞（認定課程：中一種免（理科）・高一種免（理科））

（１）各段階における到達目標

履修年次		到達目標
年次	時期	
1 年次	前期	化学と生物学を中心に学科に担当した基礎科目により基礎力を身に付ける。農業に焦点をあて、農作物・畜産物の生産に関する概要を理解する。語学や人文・社会科学も学んで広い教養を養う。教職についての理解を深め、教員としての適性を確認する。
	後期	化学・生物学をベースにした栄養学の基礎となる素養を身につけ、管理栄養士としての基礎を養う。
2 年次	前期	専門科目修得に必要な基礎科目とともに管理栄養士必須の科目を担当し、医学概論を配し、「医学と農学」の相互関係を理解させる。教職の基礎を理解し、将来の進路について考える。
	後期	栄養・非栄養成分が人体に与える影響や健康の保持増進と生活習慣病の予防・改善などの研究するための研究方法を身に付ける。理科教員として必要な基礎的な科学的知識を再確認する。
3 年次	前期	卒業論文作成のための研究室配属を行い、小さいユニットでの研究論文作成の指導を開始する。理科教員として必要な指導法、中学校教員として必要な指導法を身に付ける。
	後期	栄養や食育に関係する職業について、インターンシップを通して関心を高め、将来の進路を考える。卒業研究で取り組むテーマをおおまかに決める。引き続き理科教員として必要な指導法を習得するとともに、教育実習に臨むための態度を確立する。
4 年次	前期	病院・保健所・市区町村保健センター及び特定給食施設で実際に展開されている業務を研修する。教育実習をすることで、大学で学んだ知識・技術を確認するとともに、教師の仕事について理解を深め、教員としての資質を確認する。
	後期	卒業研究活動を通して科学的なものの見方・考え方を正しく身につける。それとともに、研究計画の立て方、研究の進め方、研究成果のまとめ方・報告の仕方、科学論文の書き方などについて学習し様々な方面から考える力を養成する。中学校理科教師として必要な資質能力がどれだけ形成されたか振り返る。